

薬理学Ⅳ

Pharmacology Ⅳ

薬：E1-04322MY

医療科目 3年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 野澤 玲子(薬理学研究室)

■教育目的

本講では、代謝性疾患治療薬、感染症治療薬、抗悪性腫瘍薬などの薬理作用・機序を中心として講義し、それらの治療薬の有効性・安全性の薬理的基盤を学習していく。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-③】

■学習到達目標

代謝性疾患治療薬、感染症治療薬、抗悪性腫瘍薬などの薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。(知識)
薬物の相互作用、依存性・耐性、副作用、毒性について具体例を挙げて説明できる。(知識)

■準備学習（予習・復習）

予習：講義テキスト・参考書の該当箇所に目を通しておく(30分以上)。

復習：講義テキスト・参考書・演習問題等を活用し、講義内容を復習するとともに、関連事項について調べ知識を整理する(30分以上)。

■授業形態

講義

■授業内容

下記の項目に関して、薬物名、薬物の作用機序、個々の薬物の特徴などを説明する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	病原微生物と薬	抗菌薬 主要な抗菌薬の耐性獲得機構	E2 (7)-①-1, ②- 1
2	//	抗原虫・寄生虫薬、抗真菌薬	E2 (7)-⑤-1 E2 (7)-⑥-1
3	//	抗ウイルス薬	E2 (7)-④-1～5 E2 (7)-⑩-1
4	代謝系疾患の薬	糖尿病治療薬	E2 (5)-①-1
5	//	脂質異常症治療薬	E2 (5)-①-2
6	//	高尿酸血症・痛風治療薬	E2 (5)-①-3, ③- 1
7	//	カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する治療薬	E2 (2)-③-2,4 E2 (2)-④-1
8	悪性新生物(がん)と薬	抗悪性腫瘍薬 抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構	E2 (7)-⑧-1, 2
9	//	ホルモン療法薬	E2 (7)-⑧-11, 13
10	//	分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬	E2 (7)-⑧-1
11	//	抗悪性腫瘍薬の主な副作用	E2 (7)-⑧-3 E2 (7)-⑩-1
12	感覚器・皮膚の疾患と薬	眼疾患の薬 耳鼻咽喉疾患の薬 皮膚疾患の薬	E2 (6)
13	医薬品の安全性	薬物相互作用	E1 (1)-①-8
14	//	薬物依存性、耐性	E1 (1)-①-9
15	//	有害事象、副作用、毒性	E1 (4)-①-1,2

■授業分担者

野澤 玲子

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

確認テストを解いて理解度を確認し、解説等によりフィードバックを行う。

学期末試験成績(100%)で評価をする。

■教科書

講義プリント

■ 参考書

『新 図解表説 薬理学・薬物治療学』 菱沼 滋 著 (テコム)

『薬がみえる vol.2、vol.3』 (メディックメディア)

『NEW 薬理学』 田中 千賀子 他 編著 (南江堂)

『グッドマン・ギルマン薬理書(上・下)』 高折 修二 他 監訳 (廣川書店)